

平成28年度

事業報告書

社会福祉法人 秋田県社会福祉事業団

平成28年度事業報告書目次

	ページ	
I. 概況	-----	1
II. 組織	-----	6
III. 役員等	-----	8
IV. 会議等	-----	9
V. 職員	-----	11
VI. 研修の実施及び参加状況	-----	12
VII. 苦情解決処理状況	-----	13
VIII. 施設別事業実施の概要		
秋田県北部老人福祉総合エリア	-----	14
秋田県中央地区老人福祉総合エリア	-----	16
秋田県南部老人福祉総合エリア	-----	18
高清水園	-----	22
秋田県心身障害者コロニー	-----	24
由利本荘地域生活支援センター	-----	26
阿桜園	-----	28
やまばと園	-----	30
秋田県身体障害者更生訓練センター	-----	32
秋田県点字図書館	-----	34

I. 概 況

平成28年度からスタートした当事業団の運営指針である「5カ年経営計画」に基づき、質の高いサービス提供や人材の確保・育成などに取り組んだ。

また、社会福祉法人制度の改革を踏まえ、経営組織のガバナンス強化や事業運営の透明性の向上などに取り組んだ。

1 経営組織体制の確立 組織管理

① 県有施設等の経営

平成28年度から高清水園、阿桜園が秋田県から譲渡され、自主経営を開始した。

また、心身障害者コロニー、身体障害者更生訓練センターなど4施設は県から無償賃借を継続、老人福祉総合エリアなど5施設は第3期指定管理者として適正な経営に努めた。

なお、南部老人福祉総合エリアの老人ホーム等については、将来の譲渡の可否を含め、県と協議することになった。

② 自主設置施設の開設

○ 由利本荘地域生活支援センター

当法人が初めて自主設置した「由利本荘地域生活支援センター」が平成28年4月に開設し、生活介護、放課後等デイサービスなど在宅支援の拠点となる事業を実施した。

○ 身体障害者更生訓練センター

平成31年度開設に向けて、複数候補地の中から秋田市御所野地区に建設地を確保し、利用者等へのアンケート調査等を踏まえ、基本計画を策定した。

③ 社会福祉法人改革への取組

○ 経営組織の強化

社会福祉法人改革を踏まえ、議決機関としての評議員会を設けるなどの定款変更を行ったほか、評議員会・理事会の運営等に関する定款施行細則など関係規則等を見直した。

○ 財務会計チェック体制の強化

新たに計算書類等の監査を行う会計監査人候補者を公募の上、選任し、候補者による予備調査等が実施された。

④ 広報活動

平成28年5月からホームページをリニューアルしたほか、施設の広報紙等を通じて利用者や家族、地域住民からの理解が得られるよう、PR活動に努めた。

2 事業の運営と質の高いサービス提供 事業管理

① ハイクオリティサービス推進システム（まごころシステム）の推進

利用者本位のサービスを提供するため、当事業団独自のシステムについて、「個別支援計画実践マニュアル」の内容を検討し、PDCAサイクルによるシステムの継続的改善に取り組んだ。

② 高齢化、重度化に対応した支援

入所利用者の高齢化、重度化に対応したサービス提供体制の充実を図ったほか、利用需要に見合った入所定員の見直しを行った。

○ サービス提供体制の強化

- ・南部エリア軽費老人ホーム 入浴等の介護サービスの充実
介護保険対象定員の増(20名→25名)
- ・グループホーム 心身障害者コロニー等で夜間支援体制の充実
- ・心身障害者コロニー 診療所によるターミナルケアの取組

○ 定員の見直し

- ・心身障害者コロニー施設入所支援 500名 → 380名
- ・更生訓練センター施設入所支援 60名 → 50名

③ 地域生活支援の充実

支援学校等に就学する児童を対象に、放課後や休業日において生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進等の支援を行う放課後等デイサービス事業を新たに開始した。

- ・やまばと園 平成28年4月から事業開始
- ・高清水園 平成28年9月から事業開始

④ 障害児入所施設の移行

18歳以上の障がい者が入所している障害児入所施設の移行の方針を決定し、関係機関と移行に向けた施設整備等の協議を行った。

- ・高清水園 平成29年度から障害者支援施設に移行
- ・阿桜園 平成30年度から児者併設施設に移行
- ・やまばと園 平成30年度から障害者支援施設に移行

⑤ 高齢者等の健康づくり支援

北部・中央・南部老人福祉総合エリアでは、観光情報誌へ広告を掲載するなど新たなPR活動を行ったほか、顧客満足度調査の実施により利用客の意見を積極的に取り入れ、幅広い年代のスポーツ・健康づくり事業に取り組んだ。

⑥ 安全・安心対策の強化

○ 防災・防犯対策の強化

災害時でもサービス提供を継続できるよう、危機管理体制の検討を行うとともに、防犯カメラを増設するなど、安心してサービスを利用することができるよう防災、防犯対策の強化を図った。

○ グループホームの防火対策

消防法等の改正を踏まえ、関係法令に適合したグループホームを確保するため、新たにグループホーム2棟を整備したほか、新たな賃貸物件の交渉や家主による消防設備の設置について協議を進めた。

⑦ 公益的な取組の実施

社会福祉法改正により社会福祉法人の責務として位置づけられたことから、平成27年度からの取組に加え、社会福祉協議会やNPO法人と連携し、施設が有する専門性を地域に提供することができるよう取組を進めた。

○ 事務局

フードバンク活動、制服リユース、家族代行支援事業等を行うNPO法人の活動を支援するため、職員が月1回ボランティアとして参加。

○ 高清水園

秋田市内のグループホームを利用する方々の交流を図り、余暇活動の充実を支援するため、ボウリング大会を開催。

○ 心身障害者コロニー

由利本荘市社会福祉協議会等と連携し、地域で暮らす障がい者や閉じこもりがちな方々が交流できる場を新たに整備し、月1回ふれあい交流会を開催。

○ 阿桜園

地域で生活する障がい者の方を対象に、余暇活動の場を提供するため、月1回陶芸教室を開催。

○ やまばと園

福祉サービスを利用しておらず、家族以外との交流がない方を対象に、自宅以外で安心して楽しく過ごせる活動の場として交流サロンを月1回開催。

⑧ 苦情・要望への対応

満足度調査等の実施により、幅広く苦情、要望等を受け付ける体制を整え、受け付けた苦情等については迅速に対応し、職員への周知、申出人及び各施設に設置する第三者委員への報告を行った。

3 財務基盤の強化 財務管理

① 自立経営に向けた財源確保

○ サービス活動収益の増加

利用者の重度化、高齢化に対し、サービス提供体制を充実することにより、人員配置体制加算等を取得し、サービス活動収益の増収に努めた。

○ 事業展開のための積立

身体障害者更生訓練センターの移転改築、県から譲り受けた高清水園、阿桜園の将来の改築など、施設改築や新たな事業の展開に必要な資金の確保に努めるとともに、中長期的な経営の状況をシュミレーションし、分析を行った。

・平成28年度末積立金累計額 約15.8億円

② コスト削減の取組

新たに新電力における電力需給契約を締結し、平成29年度以降のコスト削減の方策を図ることとした。また、灯油、精米などの共同入札によるコスト削減に努めた。

③ 計画的な施設・設備の修繕

秋田県建築住宅センターから専門的なアドバイスを得ながら、老朽化している建物の管理台帳を作成し、計画的な建物設備の修繕に取り組んだ。

《主な修繕等》

・高清水園放課後等デイサービス用スペース改修	2,916千円
・高清水園トップライト漏水箇所修理工事	2,905千円
・コロニー電話設備更新	5,616千円
・阿桜園厨房エアコン更新	1,566千円

④ 安全性を考慮した資金運用

施設の改築、改修や新たな事業の展開に必要な資産について、安全性について十分考慮したうえで、国債による運用を継続したほか、新たに地方債による積立金等資産の運用を図った。

⑤ 適切な予算管理及び会計処理

社会福祉法人会計基準に基づき適正な会計処理に努めるよう、監事の監査等を踏まえて必要な改善を図ったほか、法人事務局による内部経理監査を実施した。

4 人材確保及び養成 人事管理

① 職員採用

○ 支援員・看護師等の確保

年齢構成の平準化とキャリア育成を図るため、専門性の高い職員の確保に努めた。

- ・平成28年度採用 福祉職10名、専門職3名（看護師2名、栄養士1名）
- ・平成29年度採用 福祉職23名、専門職1名（栄養士1名）

○ 採用活動の取組

支援現場の正職員の比率を高めるため、各種就職説明会や学校訪問等を実施し積極的な採用活動を行ったほか、新規学卒者の選考試験を早期に実施し、職員の確保に努めた。

② 准職員の待遇改善

支援を担う非正規職員の不足状況を踏まえ、待遇改善における検討を行い、国が拡充する処遇改善加算を活用し、平成29年度から給料額の引き上げや定期昇給制度の導入などの待遇改善を実施することとした。

③ 職員研修による資質向上

法人運営及び質の高いサービスの提供に必要とされる知識、技術を持った職員を育成するため、研修実施計画に基づき、法人研修として階層別研修、能力開発研修、意識改革研修を実施したほか、各施設においては不審者侵入対応訓練等のリスク管理や高次脳機能障害にかかる研修などの専門的知識の習得に関する研修を実施した。

④ 強度行動障害支援の充実

○ 支援スキルの向上

国の実施する強度行動障害支援者養成研修指導者研修及びフォローアップ研修に職員を派遣したほか、昨年度に引き続き支援アドバイザーを配置し、指導者の養成及び支援スキルの向上を図った。

○ 支援体制の構築

強度行動障害を有する方への支援体制を構築するため視察研修を実施し、心身障害者コロニーでは、障がい特性に応じた設備体制の構築に向けたワーキンググループを立ち上げた。

⑤ 労働環境の整備

○ メンタルヘルス対策

改正労働安全衛生法に基づき、新たに全職員を対象に「心理的な負担の程度を把握するための検査及び面接指導(ストレスチェック)」を実施した。

○ ハラスメントの防止

育児、介護休業等の法律改正を受けて、ハラスメント防止対策を規則に明記し、職員に周知することで、働きやすい職場環境づくりに努めた。

施設一覽

平成29年3月31日現在

施設名	施設種別	所在地	開設日	定員(人)	現員
秋田県北部老人福祉総合エリア	利用施設	大館市	H11.8.1	宿泊定員85	—
秋田県中央地区老人福祉総合エリア	利用施設	秋田市	H9.8.1	宿泊定員116	—
秋田県南部老人福祉総合エリア			S63.7.1		
コミュニティセンター	利用施設	横手市	(S63.7.1)	宿泊定員58	—
養護老人ホーム	老人福祉施設		(H1.2.1)	50	50
軽費老人ホーム	老人福祉施設		(H2.7.1)	50	46
老人専用マンション	利用施設		(H3.10.1)	24	7
横手市大森町生きがい創作館	利用施設		(S64.1.4)	—	—
指定居宅介護支援事業所	介護サービス事業所		(H18.4.1)	—	—
指定訪問介護事業所	介護サービス事業所		(H18.4.1)	—	—
高清水園	障害者支援施設	秋田市	H9.4.1	60	51
	福祉型障害児入所施設		H9.4.1	40	34
グループホーム「結」	共同生活援助	秋田市	H14.10.1	4	4
グループホーム「みのり」	共同生活援助	秋田市	H16.11.1	4	4
グループホーム「さくら」	共同生活援助	秋田市	H18.5.1	5	5
グループホーム「あおぞら」	共同生活援助	秋田市	H20.4.1	6	6
グループホーム「彩」	共同生活援助	秋田市	H21.4.1	4	4
グループホーム「こまち」	共同生活援助	秋田市	H25.10.1	6	6
秋田県心身障害者コロニー			S46.4.1		
創生支援課	障害者支援施設	由利本荘市	(S46.5.1)	380	365
银杏支援課	障害者支援施設		(S47.4.1)		
赤光支援課	障害者支援施設		(S48.5.1)		
白光支援課	障害者支援施設		(S49.1.1)		
開成支援課	障害者支援施設		(S49.6.1)		
開成支援課	障害者支援施設		(S49.6.1)		
診療所	診療所		(S49.6.1)		
グループホーム「わかまつ」	共同生活援助	由利本荘市	H11.10.1	6	6
グループホーム「やすらぎ」	共同生活援助	由利本荘市	H12.10.1	6	6
グループホーム「そよかぜ」	共同生活援助	由利本荘市	H13.10.1	4	4
グループホーム「わかば」	共同生活援助	由利本荘市	H16.2.1	4	3
グループホーム「はまなす」	共同生活援助	由利本荘市	H17.4.1	4	4
グループホーム「まつかぜ」	共同生活援助	由利本荘市	H21.11.1	6	6
グループホーム「しおさい」	共同生活援助	由利本荘市	H23.4.1	5	5
グループホーム「お月森」	共同生活援助	由利本荘市	H16.4.1	5	5
グループホーム「なでしこA」	共同生活援助	由利本荘市	H24.1.1	4	5
グループホーム「なでしこB」	共同生活援助	由利本荘市	H24.1.1	5	4
グループホーム「かもめ」	共同生活援助	由利本荘市	H24.9.1	5	4
グループホーム「はまやま」	共同生活援助	由利本荘市	H25.3.1	5	5
由利本荘地域生活支援センター	障害福祉サービス事業所	由利本荘市	H28.4.1	30	28
水林事業所	障害福祉サービス事業所	由利本荘市	H24.1.1	30	25
グループホーム「翼」	共同生活援助	由利本荘市	H2.4.1	4	4
グループホーム「めぐみ」	共同生活援助	由利本荘市	H7.4.1	5	5
グループホーム「虹」	共同生活援助	由利本荘市	H23.7.1	4	4
グループホーム「そら」	共同生活援助	由利本荘市	H23.12.1	4	4
グループホーム「三愛A」	共同生活援助	由利本荘市	H13.10.1	5	5
グループホーム「三愛B」	共同生活援助	由利本荘市	H13.10.1	5	5
グループホーム「菖蒲」	共同生活援助	由利本荘市	H9.10.1	5	5
グループホーム「若菜」	共同生活援助	由利本荘市	H12.10.1	5	5
グループホーム「御門A」	共同生活援助	由利本荘市	H28.3.1	5	5
グループホーム「御門B」	共同生活援助	由利本荘市	H28.3.1	5	5
グループホーム「清和A」	共同生活援助	由利本荘市	H28.4.1	5	4
グループホーム「清和B」	共同生活援助	由利本荘市	H28.4.1	5	4
グループホーム「朋A」	共同生活援助	由利本荘市	H28.4.1	5	4
グループホーム「朋B」	共同生活援助	由利本荘市	H28.4.1	5	5
阿桜園	障害者支援施設	横手市	H2.4.1	70	69
	福祉型障害児入所施設		S39.4.25	50	41
グループホーム「希望」	共同生活援助	横手市	H6.4.1	5	4
グループホーム「あさひ」	共同生活援助	横手市	H16.1.15	4	4
グループホーム「あざみ」	共同生活援助	横手市	H23.4.1	5	5
湯沢雄勝広域市町村圏組合	障害者支援施設	湯沢市	H15.4.1	50	51
やまばと園	福祉型障害児入所施設		S49.10.1	10	8
グループホーム「ぼってりー」	共同生活援助	湯沢市	H21.4.1	5	5
グループホーム「のどか」	共同生活援助	湯沢市	H23.4.1	5	0
秋田県身体障害者更生訓練センター	障害者支援施設	秋田市	S55.7.1	50	30
秋田県点字図書館	視聴覚障害者情報提供施設	秋田市	S60.4.1	—	—

Ⅲ. 役員等

(平成29年3月31日現在)

(1) 役員

役職名	氏名	現(元)職名
理事長	熊谷 淳	元秋田県人事委員会事務局長
理事	柴田 一宏	柴田一宏法律事務所長
理事	太田 春海	秋田県民生児童委員協議会会長
理事	高橋 美岐子	日本赤十字秋田短期大学学務部長
理事	佐々木 繁	秋田県社会福祉協議会常務理事
理事	田中央 吾	秋田県健康福祉部長
理事	小澤 久範	秋田県心身障害者コロニー管理者
監事	前田 正人	前田公認会計士事務所長
監事	田中 政博	元秋田市財政部長

(2) 評議員

役職名	氏名	現(元)職名
評議員	遠藤 博之	秋田県立療育機構理事長
評議員	仲村 盛吉	秋田県老人クラブ連合会会長
評議員	伊藤 英紀	秋田県身体障害者福祉協会会長
評議員	谷内 和夫	秋田県手をつなぐ育成会会長
評議員	田沼 昭男	秋田県社会福祉法人経営者協議会会長
評議員	高島 幹子	秋田県看護協会会長
評議員	和田 士郎	秋田県社会福祉士会会長
評議員	柴田 博	秋田看護福祉大学福祉学科教授
評議員	藤本 和宏	横手市副市長
評議員	小野 一彦	由利本荘市副市長
評議員	木村里 美	社会福祉法人秋田けやき会 ケアハウスウエルハウス御所野施設長
評議員	小林 俊昭	秋田県高等学校長協会特別支援学校部会長
評議員	須田 広悦	秋田県健康福祉部福祉政策課長
評議員	神谷 長一	阿桜園保護者会会長
評議員	熊谷 公彦	高清水園園長

IV. 会議等

(1) 評議員会

開催年月日	会場等	決議事項
平成28年 5月24日	中央地区老人福祉総合エリア研修室	1 平成27年度事業報告及び決算について 2 役員の選任について
平成28年11月29日	中央地区老人福祉総合エリア研修室	1 秋田県社会福祉事業団定款の変更について 2 秋田県社会福祉事業団評議員選任・解任委員会運営規則の制定について 3 会計監査人候補者の選任について 4 平成28年度補正予算について
平成29年 3月 9日	中央地区老人福祉総合エリア研修室	1 定款施行細則の一部改正について 2 組織規則の一部改正について 3 公印取扱規則の一部改正について 4 職員就業規則の一部改正について 5 職員給与規則の一部改正について 6 准職員就業規則の一部改正について 7 会計規則の一部改正について 8 平成28年度補正予算について 9 平成29年度事業計画について 10 平成29年度当初予算について

(2) 理事会

開催年月日	会場等	決議事項
平成28年 4月 1日	中央地区老人福祉総合エリア研修室	1 理事長の互選について
平成28年 5月27日	中央地区老人福祉総合エリア研修室	1 平成27年度事業報告及び決算の認定について 2 役員の選任について 3 評議員の選任について
平成28年 6月 1日	中央地区老人福祉総合エリア研修室	1 理事長の互選について
平成28年12月 7日	中央地区老人福祉総合エリア視聴覚室	1 秋田県社会福祉事業団定款の変更について 2 秋田県社会福祉事業団評議員選任・解任委員会運営規則の制定について 3 評議員選任・解任委員会委員の選任について 4 評議員候補者の推薦について 5 会計監査人候補者の選任について 6 平成28年度補正予算について
平成28年12月22日	書面決議	1 育児・介護休業等に関する規則の一部改正について
平成29年 3月17日	中央地区老人福祉総合エリア視聴覚室	1 定款施行細則の一部改正について 2 組織規則の一部改正について 3 公印取扱規則の一部改正について 4 職員就業規則の一部改正について 5 職員給与規則の一部改正について 6 准職員就業規則の一部改正について 7 会計規則の一部改正について 8 平成28年度補正予算について 9 平成29年度事業計画について 10 平成29年度当初予算について 11 施設長の任命について

(3) 監事の監査

開催年月日	会場等	内容
平成28年 5月12日 5月13日	中央地区老人福祉総合エリア 研修室	平成27年度事業の執行状況及び収支決算状況について
平成28年10月11日	由利本荘地域生活支援センター	平成28年度予算の執行状況について

(4) 評議員選任・解任委員会

開催年月日	会場等	決議事項
平成29年 3月13日	中央地区老人福祉総合エリア 理事長室	評議員選任の件

(5) 施設長会議

開催年月日	会場等	議題
平成28年 5月24日	中央地区老人福祉総合エリア 研修室	1 平成28年度第1回評議員会・第1回理事会議案関係について 2 監事監査の指導助言事項等について 3 平成28年度予算執行関係について
平成28年10月27日	中央地区老人福祉総合エリア 視聴覚室	1 5カ年経営計画の進捗状況について 2 秋田県健康福祉部との協議について 3 社会福祉法人制度改革について 4 社会福祉施設の安全対策について 5 グループホームの今後について 6 職員採用について 7 准職員の待遇改善等について 8 施設の修繕計画・発注支援等の委託について 9 電力自由化について
平成29年 1月20日	中央地区老人福祉総合エリア 研修室	1 社会福祉法人制度改革の動向について 2 第4回理事会の概要について 3 経営検討会議の設置について 4 身体障害者更生訓練センターの移転改築について 5 職員採用について 6 人材の確保について
平成29年 3月 2日	中央地区老人福祉総合エリア 研修室	1 職員の待遇改善について 2 平成28年度第3回評議員会・第5回理事会議案関係について

V. 職員

1. 職員の配置状況

平成29年3月31日現在

	事務局	総合老人福祉社	北部老人福祉社	中央地区老人福祉社	総合老人福祉社	南部老人福祉社	高清水園	心身障害者	生活支援センター	由利本荘地域	阿桜園	やまぼと園	更生訓練センター	身体障害者	点字図書館	計	
施設長等	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	
部長等	1				1			1								3	
課長等	1	1	1	1	2	3	7	1	2	1	1	1	1			20	
事務	課長補佐	1		1					1			1	1			5	
	主査	4	1	1	1	1	2		2			1	1	1	1	14	
	主任	1					2				1					4	
	主事	2	1				3									6	
支援員	課長補佐				1	3	11		4	3						22	
	主査				5	8	32	6	6	2	6					65	
	主任				1	3	14	2	5	3						28	
	主事				4	6	27	2	13	5	4					61	
技師	保健師・看護師	課長補佐					1									1	
		主査				1		4			1	1				7	
		主任						4	1	1						6	
		技師				1	1									2	
	栄養士	主査				1	1			1	1					4	
		主任															
		技師						1						1		2	
	作業療法士	主査												1		1	
		主任															
		技師															
技師																	
理学療法士	主査												1		1		
	主任																
	技師																
技能技師	総括技能技師				2		1		1							4	
	主任技能技師		2	1	2	2	4		1	1						13	
	技能技師			1		1	6						1			9	
正職員計	11	6	6	23	30	121	14	37	20	19	2				289		
准職員	1	9	13	55	72	151	48	68	41	8	6				472		
合計	12	15	19	78	102	272	62	105	61	27	8				761		

2. 職員数の推移

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
正職員	289	295	291	294	290	289
准職員	341	377	409	443	462	472
計	630	672	700	737	752	761

VI. 研修の実施及び参加状況

	研 修 名	参加人数
主な法人研修	・階層別研修Ⅰ（新任職員研修）	12人
	・階層別研修Ⅰ～Ⅵ（人事考課における人材育成について）	109人
	・階層別研修Ⅰ～Ⅵ（メンタルヘルス研修）	26人
	・能力開発研修Ⅰ～Ⅵ（ケアマネジメント研修）	32人
	・能力開発研修Ⅰ～Ⅵ（公開講演会及び職員実践発表会）	133人
	・意識改革研修Ⅰ～Ⅴ（障害者虐待防止・権利擁護研修）	36人
	・平成29年4月1日付け新規採用内定者に対する事前研修	24人
主な施設内研修	・新任（中途採用准職員）・転任職員研修	210人
	・不審者侵入対応訓練講習会	99人
	・水泳指導員講習会	8人
	・パワーハラスメント勉強会	9人
	・高齢者虐待防止研修	98人
	・感染症予防対策研修	355人
	・救命講習会	131人
	・施設見学、施設体験研修	103人
	・3エリア合同視察研修（秋田ふるさと村、ぬく森温泉ユメリア）	4人
	・3エリア合同研修（ビジネスマナー研修）	34人
	・障害者グループホーム世話人研修	70人
	・高次脳機能障害に係る研修	11人
	・地域生活定着促進事業に係る研修	12人
	・日誌、ケース記録の重要性、書き方について	31人
	・個別支援計画作成と実践について	29人
	・ターミナルケアについて学ぶ	12人
	・知的障害と自閉症スペクトラム障害について	30人
	・てんかんへの対応について	57人
・認知症研修	23人	
・権利擁護・成年後見制度研修	303人	
主な事業団外研修	・研修担当職員研修	4人
	・社会福祉法人会計研修会	2人
	・クレーム対応力研修	3人
	・調理技術研修	2人
	・プール管理責任者並びにプール衛生管理者講習会	1人
	・成年後見制度を活用していくための研修会	1人
	・秋田県相談支援従事者指導者・ファシリテーター養成研修	2人
	・福祉保健施設・事業者等職員研修（事務・新任・中堅・指導者）	23人
	・生活困窮者自立支援制度とよりそいホットラインの連携シンポジウム	1人
	・福祉サービスに関わる苦情解決研修会	8人
	・相談支援事業関係者フォローアップセミナー	7人
	・東北地区知的障害者福祉協会専門研修会（権利擁護と意思決定支援）	6人
	・東北地区知的障害者福祉協会職員研修大会東北フォーラム2016inみやぎ	6人
	・ホスピタリティ研修	2人
	・国立のぞみの園支援者養成現任研修	4人
	・相談支援・就業支援セミナー	2人
	・秋田県自治研修所能力開発研修	23人
	・ミュージックケア研修	1人
	・強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）	34人
	・障害者虐待防止・権利擁護研修	17人
	・強度行動障害支援者養成研修フォローアップ研修	2人
	・みんなで支え合う地域づくりフォーラムin由利本荘	1人
	・地域支援セミナー	5人
	・ポーター早期教育プログラム初級研修セミナー	1人
	・点字指導員講習会	1人

Ⅶ. 苦情解決処理状況

(1) 平成28年度施設別件数

	(職員の サービスの 接遇等)	(サー ビスの 質・量)	説明・ 情報提供	施 設・ 設 備	制 度・ 政 策	金 銭	被 害・ 損 害	権 利 侵 害	そ の 他	計	(継続中 の件数)
北部老人福祉総合エリア										0	0
中央地区老人福祉総合エリア	1	3								4	0
南部老人福祉総合エリア							1		4	5	0
高清水園										0	0
心身障害者コロニー	2		1							3	0
由利本荘地域生活支援センター	1									1	0
阿桜園	1	1						1		3	0
やまばと園	5	※1								5	0
身体障害者更生訓練センター	1									1	0
点字図書館										0	0
計	11	4	1	0	0	0	1	1	4	22	0

※他の項目と重複あり

(3) 平成28年度苦情の主な内容

	内容の分類	件数	割合	内 容	例
利用施設	サービス内容 (職員の接遇等)	1	25%	職員の接遇に関する事	プール教室利用者に対する職員の対応、言動が不適切だった。 →接遇、プール指導研修の実施、参加により改善を図る。
障害施設・老人施設	サービス内容 (職員の接遇等)	10	53%	職員の接遇に関する事	利用者や家族に対する職員の言動が不適切だった。 →職員の丁寧な言葉遣いや態度について、周知徹底を図る。
	サービス内容 (サービスの質と量)	2	11%	サービスの質に関する事	利用者への整容、清潔保持の支援が不十分だった。 →職員間で周知徹底し、改善を図る。
	説明・情報提供	1	6%	家族への説明、情報提供に関する事	利用者が怪我をした際、家族への説明が不十分だった。 →利用者、家族へ納得が得られる説明について、徹底を図る。
	被害・損壊	1	6%	利用者同士のトラブルに関する事	他利用者とのトラブルについて、公的機関への相談要望がある。 →関係機関にも相談し協力を得て改善を図る。

※上段は申出、下段は解決の内容

(2) 過去5年間における苦情件数の推移

年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
件 数	39	46	47	20	22

Ⅷ. 施設別実施事業の概要

秋田県北部老人福祉総合エリア

○ 利用者増に向けた取組

(1) PR活動

3エリア協同企画のフリーペーパー「るるぶFREEドライブ」へ広告を掲載し、東北圏内の各サービスエリアや道の駅等に設置した他、FMあきた「スポコンチャンネル」へのCMによるPR活動を実施した。北部エリア単独で、大館能代空港へのパンフレットの常設、秋田魁新報や北鹿新聞などへの広告掲載、各フリーペーパーへの広告掲載により広報活動の強化に努めた。

また、スポーツ団体等の団体宿泊の誘致に向けて「大館樹海ドーム」へ看板を設置した。

(2) イベント等の開催

ゴールデンウィーク期間、お盆期間のミニイベントや2月には恒例事業である「お客様感謝祭」を実施し、特に秋田犬とのふれあいコーナーや「食のマルシェ」と称した飲食ブースは好評であった。

また、県社会福祉協議会と共催による「進路ガイダンス・高校生福祉セミナー」を継続開催したほか、健康づくり事業として、グラウンド・ゴルフ大会（2回）、ユニカール大会（3回）、バドミントン大会、ラージボール卓球大会を実施した。

さらに、「県の記念日」、「敬老の日」に無料開放を行うとともに、夕方割引の時間繰り上げを年間を通じて実施することにより利用客の増加に努めた。

・お客様感謝祭	2, 255名
・グラウンド・ゴルフ大会	188名
・ユニカール大会	312名
・バドミントン大会	91名
・ラージボール卓球大会	66名

(3) 世代間交流等

世代間交流事業として、大館市内保育園児等と老人クラブの方々によるサツマイモの苗植えと収穫作業を実施した。

・サツマイモ苗植え	279名（10保育園）
・サツマイモ収穫	289名（10保育園）

平成28年度北部老人福祉総合エリア利用状況

1. コミュニティセンター等利用状況

※単位；人

区 分		年 間 合 計 (人)		比較増減
		平成28年度	平成27年度	
有 料	休 憩	28,780	30,117	△ 1,337
	宿 泊	2,471	3,016	△ 545
	会 議 室 等	4,512	3,952	560
	屋内運動広場	2,134	3,185	△ 1,051
	テニスコート	994	1,409	△ 415
	自主企画事業	1,823	2,025	△ 202
	小 計	40,714	43,704	△ 2,990
無 料	屋内運動広場	23,003	24,203	△ 1,200
	屋外運動施設等	1,289	1,340	△ 51
	自主企画事業	9,335	9,655	△ 320
	視 察 等	174	62	112
	小 計	33,801	35,260	△ 1,459
合 計		74,515	78,964	△ 4,449

2. 各種自主企画事業利用状況

※単位；人 ()内は開催回数

区 分		平成28年度	平成27年度	比較増減
生 活 活 動	陶 芸	835 (161)	930 (157)	△ 95 (4)
	木 工	478 (135)	501 (126)	△ 23 (9)
	園 芸	82 (12)	99 (11)	△ 17 (1)
	茶 道	113 (12)	141 (12)	△ 28 (0)
	その他の教室	315 (24)	354 (30)	△ 39 (△ 6)
	小 計	1,823 (344)	2,025 (336)	△ 202 (8)

区 分		平成28年度	平成27年度	比較増減
健康 づくり	スポーツ大会等	945 (11)	1,174 (19)	△ 229 (△ 8)
	小 計	945 (11)	1,174 (19)	△ 229 (△ 8)
交流 活動	交流イベント等	4,116 (27)	3,622 (22)	494 (5)
	小 計	4,116 (27)	3,622 (22)	494 (5)
そ の 他	映 写 会	1,979 (166)	2,522 (168)	△ 543 (△ 2)
	無 料 開 放	429 (2)	438 (2)	△ 9 (0)
	ポイントカード等	1,866 (1,866)	1,899 (1,899)	△ 33 (△ 33)
	小 計	4,274 (2,034)	4,859 (2,069)	△ 585 (△ 35)
合 計		9,335 (2,072)	9,655 (2,110)	△ 320 (△ 38)

3. 過去5年間の利用状況の推移

※単位；人

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
コミュニティセンター利用者数	82,979	76,922	79,090	78,964	74,515

秋田県中央地区老人福祉総合エリア

○ 利用者増に向けた取組

(1) PR活動

月間行事予定を各市民サービスセンターや公民館に毎月設置依頼し、今年度は近隣の福祉施設への営業に力を入れた。(チラシのデザインを工夫し、カラー印刷とした)

昨年度からの継続でFM番組「スポコンチャンネル」の放送を1クール実施した。また、3エリア協同で「るるぶFREEドライブ」に広告を掲載しPR活動に努めた。

また、パンフレットの新規作成と3エリア合同で販促グッズ(クリアファイル・ボールペン)を制作し、広報活動やイベント等で活用した。

(2) イベント等の開催

健康増進事業及び地域住民の交流の場として「笑い与健康講座」「ミニテニス大会」を行った。プールを活用した秋田市から受託の介護予防事業「はつらつくらぶ」は利用者から好評を得て継続している。

生きがい・健康づくり活動支援として、新たにヨガ教室を加え(8教室)開催した。夏・冬休み親子体験として陶芸・七宝焼・スイーツデコに加え新たにミニ四駆教室を開催した。特にミニ四駆教室は好評を得て、後にイベントも開催した。世代間交流事業でもある「エリア感謝祭」は、今年度自前の企画で行った。

・笑い与健康講座	182人
・ミニテニス大会	106人
・はつらつくらぶ	867人
・親子体験教室(夏・冬)	290人
・創作教室(8教室)	2,242人
・エリア感謝祭	1,417人

(3) 世代間交流等

世代間交流事業として、保育園児・ウエルハウス入居者・地域住民の方々によるサツマイモの苗植え及び収穫を行い交流を深めた。「県の記念日」と「敬老の日」に休憩(入浴)と屋内運動広場(半面)の無料開放を行い、施設のPRと利用促進に努めた。

また、子供の夏・冬休みには屋内運動広場(半面)の自由利用の確保と、人気の卓球台を廊下に設置したことにより、予約状況に左右されず提供でき、サービスの改善を図った。

平成28年度中央地区老人福祉総合エリア利用状況

1. コミュニティセンター等利用状況

※単位：人

区分	年間合計(人)		比較増減	
	平成28年度	平成27年度		
有料	休憩	42,011	41,530	481
	宿泊	3,344	3,927	△ 583
	会議室等	33,375	32,870	505
	屋内運動広場	26,666	23,301	3,365
	緑地運動広場	1,909	2,034	△ 125
	陶芸室等	1,900	2,187	△ 287
	プール	36,336	36,384	△ 48
	休憩&プールセット	1,288	1,566	△ 278
	各種自主事業等	4,922	5,204	△ 282
	小計	151,751	149,003	2,748
無料	屋内運動広場	11,483	13,474	△ 1,991
	屋外運動施設等	174	202	△ 28
	各種自主事業等	1,470	1,237	233
	視察等	52	298	△ 246
	小計	13,179	15,211	△ 2,032
合計	164,930	164,214	716	

※プール利用人数には水泳教室参加者3,938人含む

2. 各種自主事業等利用状況

※単位：人 ()内は開催回数

区分	平成28年度	平成27年度	比較増減		
有料	生きがい活動	陶芸	862 (96)	803 (94)	59 (2)
		銀粘土	149 (3)	59 (2)	90 (1)
		フラワー	67 (12)	110 (21)	△ 43 (△ 9)
		茶道	179 (24)	197 (24)	△ 18 (0)
		セルフジェルネイル	0 (0)	30 (12)	△ 30 (△ 12)
		その他の教室	148 (3)	50 (2)	98 (1)
		小計	1,405 (138)	1,249 (155)	156 (△ 17)
	健康づくり活動	太極拳	388 (35)	597 (37)	△ 209 (△ 2)
		ボールEX	324 (32)	390 (31)	△ 66 (1)
		はつらつクラブ事業	867 (36)	838 (36)	29 (0)
		体育教室	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		フラダンス	152 (24)	177 (24)	△ 25 (0)
		健康づくり事業	359 (42)	263 (24)	96 (18)
		小計	2,090 (169)	2,265 (152)	△ 175 (17)
その他	イベント等	1,427 (2)	1,690 (1)	△ 263 (1)	
小計	1,427 (2)	1,690 (1)	△ 263 (1)		
合計	4,922 (309)	5,204 (308)	△ 282 (1)		
有料	健康	水泳教室	3,938 (572)	4,940 (631)	△ 1,002 (△ 59)
合計		3,938 (572)	4,940 (631)	△ 1,002 (△ 59)	

区分	平成28年度	平成27年度	比較増減	
無料	ポイントカード	231 (231)	237 (237)	△ 6 (△ 6)
	無料開放等	607 (2)	634 (2)	△ 27 (0)
	ボランティアルーム	632 (36)	366 (26)	266 (10)
合計	1,470 (269)	1,237 (265)	233 (4)	

3. 過去5年間の利用状況の推移

※単位：人

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
コミュニティセンター利用者数	147,801	137,952	156,515	161,517	164,214	164,930

秋田県南部老人福祉総合エリア

○ 利用者増に向けた取組

(1) PR活動

3エリア協同企画により、高速道のパーキングに常設される「るるぶFREEドライブ」への情報掲載を行うとともに、情報誌「月刊アンドナウ」、フリーペーパー「どあっぷ」などへの情報掲載や、大森・大雄地区への回覧板によるPR活動を行った。

また、スポーツ団体等の団体宿泊の誘致に向けてパンフレットを作成し、県社協と共催の「高校生福祉セミナー及び進路ガイダンス」のPR活動に同行して各校を訪問することにより営業活動を積極的に展開するとともに、従来からの老人クラブへの営業も継続して行った。

更に販促グッズを作成し、各種イベント等で配布することにより集客アップに努めた。

(2) イベント等の開催

夏祭り、秋の祭典、雪まつり等季節に合ったイベントを実施した。特に秋の祭典においては「健康の丘おおもり」と共催で行い、コメンテーターとして活躍中の麻木久仁子氏の講演が大変好評であり、約500名の方が来場した。

また、県南地区で活動している個人や団体の作品展示の場としてミニミニギャラリーを開催し、作品発表の場を提供している。特に保育園児の「ぼく・わたしのおじいちゃん、おばあちゃん」作品展は多くの方が訪れ好評であった。

さらに、2月の浴室改修後のリニューアルイベントにおいては3月の3連休時に利用料の半額割引を行うとともに、お菓子撒きを行ない集客に努めた結果、274名の方が来場した。

・夏祭り	2,700名
・雪まつり	1,000名

(3) 世代間交流等

世代間交流事業として、生き生き学園による各種講座やスポーツ大会を開催し、入居施設を利用する方々や地域住民の生きがいづくりや健康づくりの促進を図った。

また、夏冬長期休みを利用した親子創作教室には多数の申し込みがあり、当初の予定より募集人員を増やしても抽選漏れが出るほどの状況であった。普段はなかなか一緒に物作り等をする機会の少ない親や祖父母が、子供や孫と一緒に工作等の作業ができて大変よかったと好評であった。

平成28年度南部老人福祉総合エリア利用状況

1. コミュニティセンター等利用状況

※単位：人

区分	年間合計（人）		比較増減	
	平成28年度	平成27年度		
有料	休憩	10,739	11,291	△ 552
	宿泊	1,023	1,169	△ 146
	会議室	610	844	△ 234
	屋内運動場	4,518	5,046	△ 528
	プール	7,626	7,802	△ 176
	セット券	154	181	△ 27
	自主事業	8,977	6,055	2,922
計	33,647	32,388	1,259	
無料	屋内運動場	24,922	26,503	△ 1,581
	各種自主事業等	11,577	11,457	120
	その他事業	18,191	19,207	△ 1,016
	視察	91	197	△ 106
計	54,781	57,364	△ 2,583	
合計	88,428	89,752	△ 1,324	

2. コミュニティセンター各種自主事業参加状況

※単位：人

（ ）内は開催回数

区分	平成28年度		平成27年度		比較増減
	人数	回数	人数	回数	
趣味活動	有料	お茶会	70 (11)	74 (11)	△ 4 (0)
		華道	140 (11)	135 (12)	5 (△ 1)
		コーラス	95 (11)	100 (11)	△ 5 (0)
		囲碁	481 (53)	505 (51)	△ 24 (2)
		小計	786 (86)	814 (85)	△ 28 (1)
健康づくり活動	有料	太極拳	142 (12)	132 (12)	10 (0)
		水中運動	115 (22)	77 (21)	38 (1)
		レクスポ	278 (23)	331 (22)	△ 53 (1)
		卓球	382 (23)	356 (21)	26 (2)
		ヨガ	98 (23)	108 (23)	△ 10 (0)
		水泳教室・各種教室	4,303 (369)	878 (367)	3,425 (2)
小計	5,318 (472)	1,882 (466)	3,436 (6)		
講座・講演	有料	なつメロ	520 (11)	539 (11)	△ 19 (0)
		移動講座	49 (2)	47 (2)	2 (0)
		小計	569 (13)	586 (13)	△ 17 (0)
創作活動	有料	陶芸	792 (164)	1,096 (213)	△ 304 (△ 49)
		民芸	396 (46)	542 (49)	△ 146 (△ 3)
		木工	8 (5)	44 (22)	△ 36 (△ 17)
		料理	390 (20)	279 (16)	111 (4)
		小計	1,586 (235)	1,961 (300)	△ 375 (△ 65)
教室合計	8,259 (806)	5,243 (864)	3,016 (△ 58)		
各種大会合計	718 (10)	812 (10)	△ 94 (0)		
自主事業（有料）合計	8,977 (816)	6,055 (874)	2,922 (△ 58)		

自主事業（無料）

区分	平成28年度	平成27年度	比較増減	
映写会	842 (48)	928 (48)	△ 86 (0)	
生きがい創作館	2,018	2,449	△ 431	
イベント・研修等	8,717	8,080	637	
合計	11,577	11,457	120	
その他事業	生きがい交流広場	495	532	△ 37
	ふれあいセンター	13,242	14,221	△ 979
	西部トレセン	4,454	4,454	0
合計	18,191	19,207	△ 1,016	

3. 過去5年間の利用状況の推移

※単位：人

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
コミュニティセンター等の利用者数	99,585	98,022	92,572	89,752	88,428
コミュニティセンター利用者数（横手市除く）	69,127	69,604	71,328	71,077	70,732

その他

区分	平成28年度	平成27年度	比較増減
チャレンジ教室	653	557	96
ポイントカード	59	112	△ 53
無料開放	697 (2)	597 (2)	100 (0)

○ 利用状況

- ・ 養護老人ホームは平均年齢が80.5歳であり、身体機能の低下や認知症傾向の方が増えているため、退居者が多く一時定員割れを起こしたが、年度末は定員を満たしている。
- ・ 軽費老人ホームは平均年齢が84.8歳であり、身体機能の低下が進んでいる。年度途中で退居者があったが、28年度末には前年度末の利用者数と同数になった。
- ・ 老人専用マンションは平均年齢が84.4歳で身体機能の低下や疾病により長期入院し、介護付き有料老人ホームに転居される方が3名、自宅復帰が1名であった。60歳代の方1名が入居されたが、退居者が多く利用者数は前年度末より減少した。
- ・ 指定居宅介護支援事業所の利用者は、長期入院や特別養護老人ホームへの入所などにより利用終了となる方がいたが、新規利用もあり利用者の大きな増減はなく、南部エリア入居者36名、地域住民19名となっている。
- ・ 指定訪問介護事業所は南部エリア入居者を対象にサービスの提供を行っている。新規利用者は8名であったが、特別養護老人ホームへの入所や軽費老人ホームの特定施設入居者生活介護事業への移行により11名が利用終了となり、利用者は減少している。

○ サービス提供体制の強化

- ・ 養護老人ホームは転倒の未然防止を共通目標に掲げ、職員間で情報や意見の交換を重ねてきたが軽減につなげることはできなかった。また、医療面では、嘱託医との連携により利用者の不安解消に努めるとともに、感染症予防に対する意識を高めた。更に訪問介護事業所との連携により外出の機会も増やした。
- ・ 軽費老人ホームは利用者の高齢化・介護の重度化に伴い、安らぎと生きがいのある自立した生活を送ることができるよう生活相談の充実を図った。また利用者の個々のニーズに応じた個別援助計画により質の高いサービスの提供に努めた。特定施設入居者生活介護事業に関しては定員を20名から25名に増員した。
- ・ 指定居宅介護支援事業所は複数のサービスを必要とする利用者が多いため各種事業所と主治医との連絡調整を行った。また、各種サービスを利用して現在の生活の継続を希望する利用者が多く、利用者本人の意向に基づいたケアプランを作成し、家族や関係機関と連携を図りながら生活全般にわたって支援を行った。
- ・ 指定訪問介護事業所はより良いサービスの提供のために毎月ケアマネージャーと訪問介護員とでケアカンファレンスを実施し、情報の共有により共通理解を進め課題解決を図った。また、ケアカンファレンスでの内容について施設と話し合いを行い、ケアマネージャー、施設職員、訪問介護員の連携強化に努めた。

利 用 状 況

1. 利用者の状況

(1) 入退所の状況

単位 (人)

事業名	性別	定員	H27年度末	入所	退所	H28年度末
養護老人ホーム	男	50	16	3	3	16
	女		34	5	5	34
	計		50	8	8	50
軽費老人ホーム	男	50	18	1	1	18
	女		28	3	3	28
	計		46	4	4	46
内 特定入居者生活介護	男	25	4	1		5
	女		15	1	2	14
	計		19	2	2	19
老人専用マンション	男	24	2			2
	女		8	1	4	5
	計		10	1	4	7

(2) 居宅支援サービス利用状況 (年度内延べ人数)

単位 (人)

事業名	男	女	計
指定居宅介護支援事業	195	278	473
指定居宅介護支援事業 (介護予防)	44	105	149
指定訪問介護事業	2,024	3,894	5,918
介護予防事業	296	748	1,044
介護予防事業(配食サービス事業)	607	1,835	2,442

高清水園

○ 利用状況

- ・入所利用者については、退所者がいたため（他施設への移行2名、死亡2名）、利用者数は減少した。
- ・放課後等デイサービス事業については、9月の新規開設だったこともあり、目標としていた利用者数の確保には至らなかった。
- ・共同生活援助事業については、新たな入退居はなかったが、利用者の生活状況を考慮してグループホーム間で2名の居住変更を行った。

○ サービス提供体制の強化

- ・強度行動障害を示す利用者支援については、専門性を高めるための研修の実施や支援アドバイザーとの連携を図りながら、障がい特性に対応した支援の充実に努めた。また、スヌーズレンルーム等の活用により利用者の情緒安定を図るなどの取り組みを行った。
- ・利用者の就労に向けた支援の強化として、プロジェクトチームによる職場見学の実施や実習活動の支援を行った。
- ・障害児入所施設については、平成29年度から障害者支援施設へ転換することとし、そのための事前説明や同意形成を行うとともに、施設内の入所調整や居室等の環境整備を行った。
- ・放課後等デイサービス事業については、建物設備の改修・整備を行うとともに、職員研修を実施し、利用者の特性に配慮した支援サービスの構築に取り組んだ。また、利用促進を図るための広報活動により利用者確保に努めた。

○ 地域交流、地域貢献

- ・秋田市内の障がい者グループホーム利用者（22ホーム、129名）を対象にしたボウリング大会を主催し、他法人施設職員と連携しながら利用者間の交流と余暇活動支援に取り組んだ。2日間で、15ホーム、57名が参加した。
- ・ハンドベル演奏会や劇団公演など、地域で活動している各種団体によるイベントを実施し、施設利用者の新たな体験の場の提供と余暇活動支援を行った。
- ・中央地区スポーツ交流会の開催当番施設として立案、運営にあたり、他法人施設と連携、協力しながら、スポーツを通じた利用者間の交流促進を図った。
- ・ボランティアの養成と登録者の拡充を図るため、高清水園主催のボランティア講座を開催した。10名の参加があり、うち5名がボランティア登録を行い、登録者総数は21名となった。年間のボランティア受け入れ数は、延べ75名となった。
- ・ソーシャルワーク実習や介護実習等、各教育機関からの実習生の受け入れを積極的に行い、大学、短大4校から10名、延べ90日間の受け入れとなった。

利 用 状 況

1. 利用者の状況

(1) 入退所の状況

単位 (人)

事業名	性別	定員	H27年度末	入所	退所	H28年度末
福祉型障害児入所施設 (経過的施設入所・生活介護含む)	男	40	25		1	24
	女		10			10
	計		35	0	1	34
障害者支援施設	男	60	34		2	32
	女		20		1	19
	計		54	0	3	51
共同生活援助	男	10	10			10
	女	19	19			19
	計		29	0	0	29

(2) 昼間サービス利用状況(実人員)

単位 (人)

事業名	男	女	計
生活介護	36	26	62

(3) 共同生活援助利用状況

単位 (人)

事業所名	男	女
グループホーム 結		4
グループホーム みのり	4	
グループホーム 彩		4
グループホーム さくら		5
グループホーム あおぞら	6	
グループホーム こまち		6
計	10	19

(4) 居宅支援サービス利用状況(延べ人数)

単位 (人)

事業名	男	女	計
障害福祉サービス・障害児通所支援			
短期入所	65	37	102
放課後等デイサービス	227	26	253
計画相談支援	332	234	566
地域生活支援事業			
日中一時支援事業(短期入所型)	54	57	111
日中一時支援事業(放課後支援型)	902	2	904

秋田県心身障害者コロニー

○ 利用状況

- ・入所利用者については、入所者に対して退所者数が多く、利用者数は減少している。平均年齢は62.1歳（最高年齢91歳 最少年齢19歳）であり、年齢構成としては60歳以上が全体の66%と高齢化が顕著である。
- ・生活介護、就労継続支援B型事業の通所利用者は56名で、そのうち新規利用者は5名であった。
- ・障害児等療育支援事業では、由利本荘市・にかほ市の子育て支援担当課と連携を図りながら、療育技術指導（音楽療法）を行った。

○ サービス提供体制の強化

- ・就労継続支援B型事業では、製パン、窯業、木工、園芸、果樹(畜産含む)の作業種目で事業を継続するとともに、特に木工では昨年引き続き地域から除草作業を受託する等、新たな作業が定着してきており、利用者一人あたりの月額平均工賃は、昨年の実績を上回る18,800円であった。また、将来一般就労を目指す利用者には、作業とは別に社会人としてのルールやマナーについての講習会を実施するなど、就労に向けた支援の充実に努めた。
- ・共同生活援助事業（グループホーム）利用者の高齢化による医療ケア対応等について、由利本荘地域生活支援センター水林事業所とワーキンググループを立ち上げ、地域で生活する方のターミナルケア支援体制等について検討を行った。
- ・平成30年度に強度行動障害等の障がい特性に応じた施設整備を実施するため、ワーキンググループを立ち上げて検討を行うとともに、設備改修、適切な支援の提供等ができるよう先進施設での研修を実施した。
- ・高齢化対策検討委員会による月例実態調査に基づき、医療的ケア及び介護量の多い利用者、ターミナルケアを必要とする利用者について、診療所に近い棟への移行を検討、実施した。

○ 地域交流、地域貢献

- ・毎年恒例行事であるコロニー祭、夏祭りを告知し、ボランティアの参加を呼びかけ交流につなげたほか、地域ボランティアグループの活動も受け入れた。
- ・地域住民への施設機能の提供として体育館を開放し、新たなサークルの利用やリピーターの増により昨年度を上回る133件、延べ1,319名の利用があった。
- ・保育園や高齢者施設の利用者との交流として、陶芸教室（13教室・365人）や果樹のもぎ取り体験（25回・446人）等を積極的に実施した。
- ・由利本荘市社会福祉協議会への協力事業として認知症予防教室（陶芸教室9回・参加者135名）への講師派遣（開成支援課職員）を行った。
- ・由利本荘市及びにかほ市在住の障がい児・者（ひきこもり含む）を対象とした「障がい児・者ふれあい交流事業」を毎月開催し、参加者のニーズに対応した企画が好評を得て参加者の固定化が図られた。
- ・地域交流活動の充実を図るため、拠点である「歩人」の改修を行い、サロン、ギャラリー展示等として提供するスペースを設置した。

利 用 状 況

1. 利用者の状況

(1) 入退所の状況

単位 (人)

事業名	性別	定員	H27年度末	入所	退所	H28年度末
障害者支援施設	男	380	203	5	14	194
	女		173	5	7	171
	計		376	10	21	365
共同生活援助	男	37	44		5	36
	女	22	27	1	2	21
	計		71	1	7	57

(2) 昼間サービス利用状況(実人員)

単位 (人)

事業名	男	女	計
生活介護	193	176	369
就労継続支援B型	48	15	63

(3) 共同生活援助利用状況

単位 (人)

事業所名	男	女
お月森		5
なでしこA		5
なでしこB		4
かもめ		4
はまやま		5
しおさい		5
わかまつ		6
やすらぎ		6
そよかぜ		4
わかば		3
はまなす		4
まつかぜ		6
計		36

(4) 居宅支援サービス利用状況(延べ人数)

単位 (人)

事業名	男	女	計
障害福祉サービス・障害児通所支援			
短期入所	266	24	290
地域生活支援事業			
日中一時支援事業	228	5	233
その他委託事業			
障害児等療育支援事業	37	21	58

(5) 診療所利用状況

年度		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
医科	診療日数	241日	240日	242日	239日	193日	
	延べ受診者数	利用者	15,398人	14,058人	13,222人	11,904人	10,361人
		その他	497人	470人	264人	224人	142人
		計	15,895人	14,528人	13,486人	12,128人	10,503人
歯科	診療日数	76日	78日	73日	80日	89日	
	延べ受診者数	利用者	690人	719人	656人	707人	733人
		その他	3人	11人	2人	0人	0人
		計	693人	730人	658人	707人	733人
計	診療日数	317日	318日	315日	319日	282日	
	延べ受診者数	利用者	16,088人	14,777人	13,878人	12,611人	11,094人
		その他	500人	481人	266人	224人	142人
		計	16,588人	15,258人	14,144人	12,835人	11,236人

由利本荘地域生活支援センター

○ 利用状況

- ・生活介護については、徐々に利用率が上昇しており、平成29年3月の平均利用者数は14.54人となっている。様々な障がいを持つ方が安心して利用できるよう、障がい特性に応じた活動や環境を設定し、個別の対応に留意しながらサービス提供に努めた。在宅で入浴することが困難なため、入浴サービスを希望する方が多い状況となっている。
- ・放課後等デイサービスの利用者は、4月のサービス提供開始から登録者数が順調に増加し、年度末時点で19名となった。
- ・計画相談支援については、サービス等利用計画、障害児支援利用計画の作成を主として事業を展開し、新規利用者の増加に努めた。
- ・基幹相談支援センターの事業として、研修会を3回、関係機関との合同での勉強会や協議を3回実施し、市内の関係者から延べ150名以上の参加を得た。また、成年後見制度利用への支援、市と合同での虐待防止センターの対応等、地域の関係機関の協力を得ながら対応した。
- ・就業・生活支援センター事業では、地域在住の障がい者の就業支援、生活支援を実施し、38名の就業と45名の実習受入を支援した。
- ・グループホームの利用者は、年齢が20歳から80歳までであり、障がいの状況も概ね自立から要介護までと非常に幅広い状況となっている。
- ・就労継続支援B型については、工賃の向上に取り組んだことで、平均工賃月額6,883円となり、前年度より向上している。

○サービス提供の強化

- ・自閉傾向にある利用者については、支援アドバイザーの助言を得ながら、障がい特性及び本人の状況に合わせたプログラムを作成し、支援を提供した。
- ・家族の入院等により宿泊型自立訓練やグループホーム（体験含む）を利用することとなった方については、行政や関係機関との連携を密にし、新しい生活に慣れてもらうことができるよう配慮した。
- ・最後まで地域で生活したいと希望する利用者への対応として、コロニーと合同でワーキンググループを立ち上げ、実現に向けての具体的な方策について検討を重ねた。
- ・虐待防止と共に、利用者サービスの向上を図る上で研修や情報提供に努めた他、職員のメンタルヘルスにも配慮し、職員へのヒヤリング等を実施した。

○地域交流、地域貢献

- ・事業所が立地している町内の運動会等の行事に参加したり、花の水やりを一緒に行う等、地域の方々との交流を図ることができた。
- ・チャレンジデーには、水林球場に行く途中ゴミ拾いを行うなどの活動を続けている。

利 用 状 況

1. 利用者の状況

(1) 入退所の状況

単位 (人)

事業名	性別	定員	H27年度末	入所	退所	H28年度末
宿泊型自立訓練	男	10	9	5	5	9
	女					
	計		9	5	5	9
共同生活援助	男	48	35	12	1	46
	女	19	14	4		18
	計		49	16	1	64

(2) 昼間サービス利用状況(実人員)

単位 (人)

事業名	男	女	計
生活介護	15	13	28
自立訓練(生活訓練)	1		1
就労継続支援B型	12	12	24

(3) 共同生活援助利用状況

単位 (人)

事業所名	男	女
翼		4
めぐみ		5
菖蒲		5
若菜		5
三愛A		5
三愛B		5
虹		4
そら		4
御門A		5
御門B		5
清和A		4
清和B		4
朋A		4
朋B		5
計	46	18

(4) 居宅支援サービス利用状況(延べ人数)

単位 (人)

事業名	男	女	計
障害福祉サービス・障害児通所支援			
児童発達支援	43		43
放課後等デイサービス	941	539	1,480
計画相談支援	489	329	818
その他委託事業			
基幹相談支援センター事業	1,479	2,218	3,697
障害者就業・生活支援センター事業	208	108	316

阿桜園

○ 利用状況

- ・入所利用者については、児童棟は成人棟への移行や入退所等により、41名の在籍であった。平成29年度は経過的施設入所利用者37名、学齢児4名となる。成人棟は69名の在籍で、平成29年度から70名となる。
- ・通所利用者については、生活介護利用の希望はあるものの、自立（生活）訓練の利用希望がないことから、平成29年2月をもって自立（生活）訓練を廃止し、生活介護の定員を増員した。
- ・共同生活援助（グループホーム）利用者については、身体機能の低下により施設入所となった利用者が1名、長期入院者が1名となっている。利用者の高齢化が進んでおり、継続した利用が困難な状況が見られる。
- ・日中一時支援は、平日の定期的な利用希望があったことから、利用者数は前年度に比べ90件増加している。短期入所の利用日数は前年度を下回った。
- ・放課後等デイサービスは、契約者が1名増となり、利用者数は前年度に比べて103件増加している。
- ・重症心身障害児者の通所事業は、利用者の体調不良等により利用件数が減少傾向にあった。

○ サービス提供体制の強化

- ・生活介護事業の支援員数を充実させたことにより、サービスの向上、人員配置体制加算の区分上位変更を行うことができた。
- ・5カ年経営計画推進ワーキンググループを立ち上げ、平成30年度からの障害児入所施設の移行や児童棟の改築整備、グループホームの移転等についての検討を重ね、準備を進めた。
- ・利用者の高齢化や重度化に対応するため、介護技術研修や支援アドバイザーの指導・助言を受けながら障がい特性の理解や支援技術の習得に努め、職員の質の向上を図った。

○ 地域交流、地域貢献

- ・夏祭り、園祭には利用者、家族、地域住民、ボランティアを含めて293名の参加をいただき、利用者との交流を楽しむ機会を設けたほか、利用者自治会が中心となり、駅前清掃・バス停清掃などの地域奉仕活動やボランティアとの花植えなどを通して地域との交流を図ることが出来た。
- ・地域公益活動として、地域で生活する障がい者の方々等を対象に、月1回陶芸教室を開催し、余暇活動の場を提供した。自宅からの送迎を行うことにより参加しやすいよう配慮するとともに、利用者のニーズに応え、10月には檜岡焼陶芸体験を実施し好評であった。

利用状況

1. 利用者の状況

(1) 入退所の状況

単位 (人)

事業名	性別	定員	H27年度末	入所	退所	H28年度末
福祉型障害児入所施設 (経過的施設入所・生活介護含む)	男	50	33	2	2	33
	女		9	1	2	8
	計		42	3	4	41
障害者支援施設	男	70	43	3	2	44
	女		25			25
	計		68	3	2	69
共同生活援助	男	9	8	1	1	8
	女	5	5			5
	計		13	1	1	13

(2) 昼間サービス利用状況(実人員)

単位 (人)

事業名	男	女	計
生活介護	46	30	76

(3) 共同生活援助利用状況

単位 (人)

事業所名	男	女
希望		4
あさひ		4
あざみ		5
計	8	5

(4) 居宅支援サービス利用状況(延べ人数)

単位 (人)

事業名	男	女	計
障害福祉サービス・障害児通所支援			
短期入所	138	25	163
生活介護(重心)	340	308	648
放課後等デイサービス(重心)	100	21	121
児童発達支援(重心)	57	4	61
放課後等デイサービス	1,179	376	1,555
計画相談支援	163	92	255
地域生活支援事業			
日中一時支援事業	308	75	383
相談支援事業	133	153	286
その他委託事業			
障害児等療育支援事業	457	219	676

やまばと園

○ 利用状況

- ・入所利用者については、成人の利用要望が多いが現在満床の状況である。児童は3月で支援学校高等部生徒が卒業し、全員が経過的施設入所・生活介護の対象となる。
- ・共同生活援助事業については、関係法令に適合した設備を整備するため、関係機関と連携し対応した。現在、1棟のグループホームについては借用に向け調整中である。併せて、利用者の意向、地域のニーズ等を勘案しながら、もう1棟のグループホームは3月で閉鎖した。
- ・短期入所、日中一時支援等の在宅支援サービスについては、マンツーマン対応の利用者が多いため、受け入れ体制を整えながら対応している。

○ サービス提供体制の強化

- ・平成28年4月から、障がいのある就学児童を対象とした放課後等デイサービス事業を開始し、各利用者の個別支援計画に基づき、ADLの習得や運動、制作活動等を実施し、楽しく過ごせるよう取り組んだ。
- ・障害児入所施設の移行について、現在入所している方が継続して利用できるよう、設置主体である湯沢雄勝広域市町村圏組合と協議し、平成30年度から障害者支援施設への移行するための準備を行った。
- ・送迎を必要とする昼間サービスの利用を希望される方に対し、年度途中から送迎範囲を拡大し、サービス提供体制の強化を図った。
- ・重度・高齢化対応委員会を立ち上げ、利用者の身体機能チェックを実施し、必要な福祉用具等の予算化を行った。また、理学療法士の指導を受け、機能訓練と評価を実施し、機能低下防止に努めた。

○ 地域交流、地域貢献

- ・夏祭り、園祭等の園行事にはボランティア、地域の方々50名の参加を得たほか、天理教ボランティアとの清掃活動、稲川支援学校の環境美化運動、栗ひろい招待、湯沢市社会福祉協議会が運営する地域憩いの場の喫茶コーナーに、利用者が給仕として参加するなど、地域住民との交流が継続された。
- ・家族以外の人との交流が少ない方々に対して自宅以外で安心して過ごせる場所を提供することを目的に毎月1回交流サロン「ホップ！」を開催。5月から2月まで定期的に毎月1回開催(全10回)。参加者数は毎回2～3名であり、延べ21名の参加があった。

利 用 状 況

1. 利用者の状況

(1) 入退所の状況

単位 (人)

事業名	性別	定員	H27年度末	入所	退所	H28年度末
福祉型障害児入所施設 (経過的施設入所・生活介護含む)	男	10	6			6
	女		2			2
	計		8	0	0	8
障害者支援施設	男	50	30	1	1	30
	女		20	2	1	21
	計		50	3	2	51
共同生活援助	男	5	5			5
	女	5	4		4	0
	計		9	0	4	5

(2) 昼間サービス利用状況(実人員)

単位 (人)

事業名	男	女	計
生活介護	33	25	58
自立訓練(生活訓練)	2	2	4
就労継続支援B型	6	3	9

(3) 共同生活援助利用状況

単位 (人)

事業所名	男	女
ばってりー		5
計		5

(4) 居宅支援サービス利用状況(延べ人数)

単位 (人)

事業名	男	女	計
障害福祉サービス・障害児通所支援			
短期入所	167	58	225
放課後等デイサービス	793	863	1,656
計画相談支援	118	80	198
地域生活支援事業			
日中一時支援事業	539	105	644
相談支援事業	67	69	136
その他委託事業			
障害児等療育支援事業	127	62	189

秋田県身体障害者更生訓練センター

○ 利用状況

- ・利用者、家族に対して、施設の移転改築について情報提供を随時行いつつ、関係機関と連絡調整を行いながら、今後の生活の方向づけに係る支援を行った。退所後の生活場所としては、多くのケースが他の障害者支援施設であり、その他は自宅復帰が1名、単身生活（アパート等）移行が2名、ケアハウス入所が1名という状況であった。
- ・通所利用者については、自立訓練（機能訓練）の新規利用希望が多かった。
- ・自立訓練（機能訓練）から生活介護に移行した方は7名となっており、ほとんどの方が生活介護への移行後も施設利用を継続している。
- ・相談支援については、新規利用者の開拓に努め、計画相談の実績は昨年度比で56件増加した。

○ サービス提供体制の強化

- ・所内で不在者投票を実施するにあたり、より確実に業務を遂行するため、都道府県選挙管理委員会連合会作成のDVD『指定施設での不在者投票の実施方法』を用いて事業所内研修を実施した。
- ・高齢利用者等に係る生活の方向性を適切に支援するため、訓練センターの相談支援専門員による事業所内研修を実施し、県内の福祉サービス事業所の情報、障害福祉制度と介護保険制度の適用関係等について学んだ。
- ・利用者への接遇について、毎月の支援会議にてテキストの読み合わせを行い、日々の実践に関する振り返りの機会を設けた。
- ・高次脳機能障害を持った利用者に対する適切な支援を提供できるよう、「秋田県高次脳機能障害相談・支援センター」から講師を招き、高次脳機能障害の基礎的理解に係る事業所内研修及び事例検討会を実施した。
- ・危機管理体制の強化の取組みとして、秋田中央警察署の協力を得て不審者対応に係る研修を実施した。
- ・利用者満足度調査や虐待防止チェックリスト等から得られたサービス提供における現状と課題を抽出したうえで、支援課職員間でグループ討議を実施し、次年度からの業務改善について検討した。

○ 地域交流、地域貢献

- ・昨年度から引き続き、秋田市ボランティアセンターのホームページに、ボランティア募集のお知らせとボランティアカレンダーを掲示し、地域住民への情報提供に努めた。その結果、秋田県地域生活定着支援センターから問い合わせがあり、連絡調整の上、当該センターのサポートを受けている利用者2名を、ボランティアとして受け入れた。（所外の草集め、スポーツレクリエーション）
- ・施設の備品について貸出し規程を定め施設のホームページにて告知を行った。

利 用 状 況

1. 利用者の状況

(1) 入退所の状況

単位 (人)

事業名	性別	定員	H27年度末	入所	退所	H28年度末
障害者支援施設	男	50	39	3	14	28
	女		3		1	2
	計		42	3	15	30

(2) 昼間サービス利用状況(実人員)

単位 (人)

事業名	男	女	計
生活介護	37	6	43
自立訓練(機能訓練)	21	3	24

(3) 居宅支援サービス利用状況(延べ人数)

単位 (人)

事業名	男	女	計
障害福祉サービス・障害児通所支援			
計画相談支援	182	106	288
地域生活支援事業			
日中一時支援事業	2		2

点字図書館

○ 利用状況

- ・平成28年度末の個人登録者数は706名で微増となった。例年、視覚障害の当事者が来館することは多くはないが、館内の施設は奉仕者等による勉強会や研修会、製作活動に多く利用されている。
- ・図書貸し出し数の減少が続いている。28年度は点字図書とテープ録音図書の減少が例年になく大きかったが、ダイジー録音図書が微増しておりこれまでの減少幅と比べれば落ち着いていると言える。
- ・定期刊行物は自館の製作のみならず、購入や他館の製作を含めて42タイトルを延べ10,832人に提供した。
- ・テープを除く各図書ともコンスタントに製作が進んだ。テキストダイジーについては製作をしているが貸出可能の蔵書としては扱っておらず、貸出件数にはカウントしていないが、利用者自身によるダウンロードが延べ3,000回を超えており、今後も製作環境の整備を進めていきたい。

○ サービス提供体制の強化

- ・秋田市以外の市町村において利用者懇談会の開催とPR訪問を行った。また様々な機会を利用して点字図書館のPRを行った。視覚支援学校の学校評議員の受諾や秋田県版のスマートサイトへの参画、「秋田県手話言語、点字等の普及等による円滑な意思疎通の促進に関する条例」制定に向けての意見交換会への出席等である。PRが即時効果につながるとは言えないが、昨年度はテレビやラジオにおいて事業を説明する機会を得ることができた。
- ・奉仕者の養成事業を継続し、修了後の育成や製作環境における助言指導を行った。養成講座受講希望者のイメージする奉仕活動と実際の奉仕活動には少なからず隔たりがあるため、定員が埋まるまでには至らないが、一定数は確保している。
- ・テレフォンニュースやレファレンス等、各種の情報については図書に限らない提供を心がけている。

○ 地域貢献等

- ・館内見学は受け入れ曜日、時間の原則を定めているが、小学生等の自発的な要望については業務に支障のない範囲で柔軟に対応した。
- ・職場体験として中学校1校から2名を受け入れ、インターンシップでは高校生1名を受け入れた。
- ・点字図書館のPRを兼ねて、「点字図書館探検」としてイベントを実施し、小学生31名 大人22名が参加した。児童の総合学習として企画したものだが、付添の大人を含めて地域住民への啓発にもなった。
- ・点字図書館登録外の県内ボランティアグループの勉強会からの依頼に対し、講師の派遣や技術指導等の協力を行った。
- ・参議院議員選出選挙において、全国組織と連携し秋田県内の視覚障害者のための選挙公報の音声ダイジー版を製作した。

平成28年度の図書受入状況

平成28年4月～平成29年3月

区分 受入先	点字図書		テープ録音図書		デジター録音		テキストデジター		タイトル 構成比
	タイトル	冊数	タイトル	巻数	タイトル	枚数	タイトル	枚数	
厚労省委託	39	86	0	0	84	84	0	0	32.71%
自館製作	135	499	0	0	80	80	28	28	64.63%
複製	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
購入	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
寄贈	0	0	0	0	10	10	0	0	2.66%
計	174	585	0	0	174	174	28	28	100.0%

平成28年度分類別貸出状況

平成28年4月～平成29年3月

区分 受入	点字図書(含、FD)		録音図書(テープ)		音声デジター(CD)		テキストデジター(CD)		合計		タイトル 構成比
	タイトル	冊数	タイトル	巻数	タイトル	枚数	タイトル	枚数	タイトル数	冊(巻)数	
0 総記	6	16	4	28	21	21	0	0	31	65	0.4%
1 哲学	28	102	7	38	115	115	0	0	150	255	2.1%
2 歴史	15	54	18	173	152	153	0	0	185	380	2.5%
3 社会科学	23	96	29	191	192	194	0	0	244	481	3.3%
4 自然科学	34	124	15	107	222	222	0	0	271	453	3.7%
5 工学	4	15	8	34	32	32	0	0	44	81	0.6%
6 産業	4	14	6	37	18	18	0	0	28	69	0.4%
7 芸術	17	67	11	60	129	129	0	0	157	256	2.2%
8 語学	2	10	0	0	17	17	0	0	19	27	0.3%
9 文学	338	1,555	478	3,815	5,353	5,374	0	0	6,169	10,744	84.5%
合計	471	2,053	576	4,483	6,251	6,275	0	0	7,298	12,811	100.0%